1067	56	題号不明	細川加賀	言語	この家の竜の玉ともさやうなら	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	610	￥43	￥1	￥1	冬
1087	57	題号不明	細川子生	言語	鴨鍋を囲むころより湖暮るる	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	497	￥43	￥1	￥1	冬
1088	57	題号不明	細川子生	言語	杜氏の言ふ狐とは桶寒造	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	285	￥43	￥1	￥1	冬
1089	57	題号不明	細川子生	言語	御本山よりの使僧に炉を開く	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	325	￥43	￥1	￥1	冬
1090	57	題号不明	細川子生	言語	夕鶴のこもごも鳴きて田を移る	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	506	￥43	￥1	￥1	冬
1091	57	題号不明	細川子生	言語	大冬木あり落城の歴史あり	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	570	￥43	￥1	￥1	冬
1102	58	題号不明	細谷源二	言語	冬は切なる保姆の希［ねが］いのオルガン届く	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	19	￥43	￥1	￥1	冬
1103	58	題号不明	細谷源二	言語	機械工冬うつくしき河わたる	2001	『昭和秀句Ⅱ＜新版＞日本秀句８』	9	￥43	￥1	￥1	冬
1104	58	題号不明	細谷源二	言語	今年また山河凍るを誰も防がず	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	60	￥43	￥1	￥1	冬
1105	58	題号不明	細谷源二	言語	心なき吾が樹ら樹氷かがやかせ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	103	￥43	￥1	￥1	冬
1106	58	題号不明	細谷源二	言語	地の涯に倖せありと来しが雪	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	115	￥43	￥1	￥1	冬
1107	58	題号不明	細谷源二	言語	父の死や布団の下にはした銭	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	224	￥43	￥1	￥1	冬
1108	58	題号不明	細谷源二	言語	雪は神の鞭毛帽子は吾が宝	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	240	￥43	￥1	￥1	冬
1109	58	題号不明	細谷源二	言語	凍死しようか情死するには髭剛き	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	341	￥43	￥1	￥1	冬
1110	58	題号不明	細谷源二	言語	明日伐る木ものをいはざるみな冬木	2017	『昭和俳句作品年表(戦後篇)』	38	￥43	￥1	￥1	冬
1111	58	題号不明	細谷源二	言語	汽車工場寒林を伐りて汽車を置けり	2001	『昭和秀句Ⅱ＜新版＞日本秀句８』	9	￥43	￥1	￥1	冬
1122	59	題号不明	三好潤子	言語	行きずりに聖樹の星を裏返す	2008	『俳句歳時記　第四版』	792	￥43	￥1	￥1	冬
1154	60	題号不明	山口速	言語	冬ざれや墓となるまで石削り	2019	『俳句歳時記　第五版』	721	￥43	￥1	￥1	冬
1155	60	題号不明	山口速	言語	五位鷺のどろばう歩き冬うらら	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	74	￥43	￥1	￥1	冬
1156	60	題号不明	山口速	言語	雪すべて止みオリオンの空の枡	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	82	￥43	￥1	￥1	冬
1157	60	題号不明	山口速	言語	なほ遠く往けと枯野の道しるべ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	135	￥43	￥1	￥1	冬
1158	60	題号不明	山口速	言語	晩成と言はれて久し木の葉髪	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	390	￥43	￥1	￥1	冬
1159	60	題号不明	山口速	言語	日の射して影のちらかる枯蓮田	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	588	￥43	￥1	￥1	冬
1167	61	題号不明	山田諒子	言語	野施行や青星ことに底光り	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	203	￥43	￥1	￥1	冬
1168	61	題号不明	山田諒子	言語	湯気立てて円周率など思ひゐる	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	327	￥43	￥1	￥1	冬
1169	61	題号不明	山田諒子	言語	少年の胸の日向に冬の蜂	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	533	￥43	￥1	￥1	冬
1178	62	題号不明	山﨑千枝子	言語	鰭酒の琥珀をかさね門司泊まり	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	251	￥43	￥1	￥1	冬